

「親思う 子供にまさる 親心かな」 両親に感謝！

阿 部 真 也
(日東電気株式会社)
代表取締役社長



私は今年4月29日に71歳の誕生日を迎える。会社は下請け製造業で、各分野の企業さんから注文を頂き、自動車部品用アルミダイカスト、精密切削加工、大型浄化槽などのFRP製品、プラスチック成型、プリント基板の実装、蓄電池装置組立など、仕事別に工場を分散配置している。

戦後に父が創業し、良い時代には年商200億円、18工場、1,300人の社員を擁した。今年は創業69年、私は25年前に他界した父の跡を継いだ2代目である。

父は戦中から戦後、香港で貿易商などを始めて以降、国内外で計32回、仕事を変えて今の会社に至るが、その父の創業精神の影響過多で、私も学生時代から色々仕事らしきものに突入した。

大学卒業後、アメリカのカリフォルニア（アナハイム）に会社を設立して特許関連ビジネス、テレビゲーム関係、ブラックシャフト付ゴルフクラブ貿易、帰国してからは、東京の青山で手巻き寿司屋を開業、名前はマイティマウス（巻いて口へ）というディズニーランドかぶれの名も付けた。また当時の日本市民防衛協会の推薦で欧州の核シェルターを視察、同部品の輸入販売、お好み焼きの十五夜、博多ラーメン店ふくちゃん、フランチャイズ学習塾チェーン、ハート英会話教室、とんかつのプラトン、ぶら下がり健康器具などのディスカウントショップ、葬祭業のふくの会、浄化槽やモデルハウスで住宅販売などなどである。

どれもうまくいかなかったが報恩感謝、たくさんの人とのかかわりで、今の自分があると思っている。

現在の会社業容はグループ全体で年商100億円、国内8工場、北米9事業所（弟がネジ販売会社を設立）、ベトナム1事業所、従業員は400人と規模は小さくなったが、スローガンはHAPPY MAKER（会社にかかわる人と社会のために幸せ製造会社をめざす）、社員と共に製造業のきびしい時代も乗り越えようとしている。

さて、冒頭の言葉「親思う 子供にまさる 親心かな」は、鐘（ショウ）さんという父の友人の言葉で、台湾の経済誌にも未上場会社の利益率（EPS）一番とも紹介される自動車のパワーステアリングモーターをつくる台全電機の創業者だ。私はその会社の役員を務めており、鐘さんが手帳にメモしたのを見せてくれた。

87歳の時、台湾の経済会議中に、ふっと思いついたという。

台湾では2万人以上が犠牲になった二・二八事件という内乱から、母や弟たちを必死で山に逃がして心配したが、母は町に残った自分をもっと心配しただろうと思ひ浮かんだのがこの言葉だという。

ネットで同じ言葉を検索したら、吉田松陰が処刑を覚悟したときの「親思う 心にまさる 親心、けふのおとずれ何と聞くらむ」を見つけた。これはこれすごいが、私は鐘さんの「親思う 子供にまさる 親心かな」が好きだ。鐘さんにはいつも私の会社や家族のことを気遣っていた心より感謝している。私の台湾のお父さんとも思っている。

鐘さんは日本人と一緒に学生時代を過ごし、日本の兵隊にもなったという。

日本の会社や大学との技術交流も深めており、「これからは母校である台湾大学の技術研究に役立ちたい」とも話しているが、今春にはメキシコ工場もスタートする。

際限のない会社発展に、「自分の幸せは別のところにあったのか、経営者にはならないほうがよかったのか、しかしもう間に合わないよ」と笑っている。

そして私は、本業でもこれという自慢できるものも無いが、社業が続けられていることに心底感謝である。

幸い、長男（現：水戸商工中金ユース会代表幹事）をはじめ、総務部に長女、ベトナム・ダナンの現地法人に次女もおり、幹部社員も含め後継者たちもいるので、時機を見て何かの貢献につながることや、また横道にそれて別の事業で会社に貢献したいと考えている。昨年（2019年）、茨城県中小企業団体中央会会長に就任。今年（2020年）10月には中小企業団体中央会の全国大会を初めて茨城県で開催することもあり、地域経済にもいくばくかでもお役に立てればとも考えている。

最後に、私の思いの限りにおつき合いくださり恐縮至極と、関係者の皆様に深く感謝している。

